▼過去の特別講師の皆様　※企業名・役職は当時のものです

第２・３期	富士工業株式会社	代表取締役社長	柏村　敬二　氏
	ソニー株式会社	テレビ事業本部副本部長	田中　建一　氏
	ミツミ電機株式会社	常務取締役工学博士	長屋　稔　氏
	東京工業大学	助教授工学博士	鈴村　暁男　氏
第　４期	ＫＯＡ株式会社	代表取締役社長	向山　孝一　氏
第　５期	長野日本電気株式会社	代表取締役社長	重宗　信正　氏
第　６期	ソニー一宮株式会社	代表取締役専務	浅野　領蔵　氏
第　７期	福島日本電気株式会社	常務取締役	芳賀　勲夫　氏
第　８期	ヒロセ電機株式会社	常務取締役	中村　達朗　氏
第　９期	ソニー浜松株式会社	代表取締役社長	青木　督英　氏
第１０期	日本電気精器株式会社	代表取締役社長	三上　徹　氏
第１１期	東北日本電気株式会社	代表取締役社長	小林　哲夫　氏
第１２期	スタンレー電気株式会社	代表取締役副社長	北野　隆典　氏
第１３期	日東電工株式会社	取締役	泉　英樹　氏
第１４期	クラリオン株式会社	専務取締役	戸成　了晟　氏
第１５期	クラレインテリア株式会社	代表取締役社長	臼倉　嘉男　氏
第１６期	茨城日本電気株式会社	代表取締役社長	古勝　紀誠　氏
第１７期	株式会社トーキン	代表取締役社長	羽田　祐一　氏
第１８期	ソニー栃木株式会社	代表取締役社長	村上　邦広　氏
第１９期	鳥取三洋電機㈱	代表取締役社長	賴　泰樹　氏
第２０期	ソニーイーエムシーエス㈱ 湖西テック	テックプレジデント	竹内　昭夫　氏
第２１期	濱田プレス工藝株式会社	常務取締役	濱田　惠　氏
第２２期	株式会社クラレ	常務取締役	貝原　正博　氏
第２３期	柏木工株式会社	代表取締役社長	関　道朗　氏
第２４期	三洋電機株式会社	執行役員	川島　克久　氏
第２５期	三木プーリ株式会社	代表取締役社長	三木　治一　氏
第２６期	ソニーケミカル株式会社	代表取締役社長	月丘　誠一　氏
第２７期	キヤノン株式会社	生産本部副本部長	高橋　泰樹　氏
第２８期	西川化成株式会社	代表取締役社長	石原　勝吾　氏
第２９期	富士電機リテイルシステムズ株式会社	埼玉工場工場長	岩波　正夫　氏
第３０期	丸五ゴム工業株式会社	代表取締役社長	藤木　達夫　氏
第３１期	鳴海製陶株式会社	常務取締役	各務　進　氏
第３２期	日経ＢＰ社	編集長	原田　衛　氏
第３３期	ダイキョーニシカワ株式会社	代表取締役副社長	石原　勝吾　氏
第３４期	アルファ電子株式会社	代表取締役社長	樽川　久夫　氏
第３５期	鍋屋バイテック会社	専務取締役	佐藤　雅英　氏
第３６期	新晃空調工業株式会社	代表取締役社長	板倉　健二　氏
第３７期	東亜工業株式会社	代表取締役社長	飯塚　慎一　氏
第３８期	三木パワーコントロール株式会社	代表取締役社長	三木　康治　氏
第３９期	日経ＢＰ社	記者	宮坂　賢一　氏
第４０期	株式会社山本製作所	代表取締役	山本　丈実　氏
第４１期	キヤノン株式会社	所長	奥窪　優文　氏
第４２期	日東電工株式会社 東北事業所	事業所長	佐々木廣昭　氏
第４３期	三光合成株式会社	執行役員 富山工場長	高野　一彦　氏
第４４期	田中食品株式会社	代表取締役社長	田中　茂樹　氏
第４５期	新晃空調工業株式会社	執行役員製造部長	竹内　英雄　氏
第４６期	日経ＢＰ社	日経ビジネス 記者	池松　由香　氏
第４７期	一般社団法人日本プレゼンテーション教育協会	代表理事	西原　猛　氏
第４８期	ジット株式会社	代表取締役	石坂　正人　氏
第４９期	公益財団法人 松下社会科学振興財団 専務理事	松下資料館 館長	遠藤　紀夫　氏
第５０期	シモハナ物流株式会社	専務取締役	占部　昌嗣　氏
第５１期	株式会社セイバン	代表取締役社長	泉　貴章　氏
第５２期	株式会社守谷刃物研究所	代表取締役社長	守谷　光広　氏
第５３期	コマニー株式会社	取締役専務執行役員	堀口　勝弘　氏
第５４期	株式会社スタンレーいわき製作所	代表取締役社長	柴﨑　恒義　氏

PEC

＼ 改善の専門家を育成する ／

第55期 東京PEC会

トヨタ生産方式と作業改善 実践トレーナー養成講座

企業内に一人でも多くの改善仲間を

様々な現場に少子高齢化や残業規制による人手不足の波が押し寄せており、生産性向上が待ったなしの状態です。しかし、生産性向上の手段を明確に描けている現場は少ないのではないでしょうか。

改善の専門家を育成する本講座では、「トヨタ生産方式」の生みの親である大野耐一氏監修のマニュアルと、現場で即実践できる山田流ムダとり手法を通じ、改善についてじっくりと学びます。通り一遍の座学だけではなく、様々な現場で在庫削減と工数低減を実践することで、貴社に合ったムダとり手法を身につけることができます。

未来の改善トレーナーを、ぜひご派遣ください。

PEC協会

本講座の特徴

①トヨタ生産方式の真髄がわかる

故 大野耐一氏（トヨタ生産方式創始者、トヨタ自動車㈱元副社長）監修のマニュアルをもとに、トヨタ生産方式の真髄と実践のノウハウの取得をめざします。

②実際の現場でムダとりを実践できる

座学・実習・自主研究からなり、各ステップでは、座学と実習。各ステップ間では、自主研究に取り組んでいただきます。

③トヨタ生産方式を指導できる

コース修了後は、社内外でトレーナーとして、第一線監督者や作業者にトヨタ生産方式と作業改善の指導を行うことができます。

▼スケジュール

	日程	研修項目	研修場所
1	令和2年 1月20日（月） ～21日（火）	オリエンテーション トヨタ生産方式とは 座学Ⅰ「企業経営とトヨタ生産方式」 【講演】PEC協会 会長　山田　日登志	PEC協会（岐阜県羽島市） デンソー高棚製作所（愛知県） トヨタ産業技術記念館（愛知県）
2	2月5日（水） ～6日（木）	座学Ⅱ「ムダの発見とムダ廃除」 実習Ⅰ「整理、整頓による目で見る管理」	山旺理研株式会社（愛知県）
3	3月12日（木） ～13日（金）	座学Ⅲ「ジャスト・イン・タイムの実現」 実習Ⅱ「動作・運搬のムダ・停滞のムダを取る1」	スタンレー電気株式会社 岡崎工場（愛知県）
4	4月16日（木） ～17日（金）	座学Ⅳ「自動化と標準作業」 実習Ⅲ「動作・運搬のムダ・停滞のムダを取る2」	ジット株式会社（山梨県）
5	5月14日（木） ～15日（金）	修了試験 実習Ⅳ「動作・運搬のムダ・停滞のムダを取る3」	柏木工株式会社 本社工場 （岐阜県）
6	6月19日（金）	修了式 【講演】株式会社シュゼット・ホールディングス 代表取締役社長　蟻田　剛毅　氏	PEC協会 （岐阜県羽島市）

*日程変更がある場合がございますので、あしからずご了承下さい。また変更があった場合は事前にご連絡致します。

▼54期修了生より

株式会社スタンレー宮城製作所
ＳＮＡＰ推進チーム
ﾁｰﾑﾏﾈｰｼﾞｬｰ　真山　和浩　氏

『現場を変えるには、先ず自分が変わる！』そう意気込んで研修に臨みました。本講座では、改善のスキルを上げる勉強、体得は当然ですが、常にモラールの重要性を体感し続けた半年間でした。高いモラールを持った仲間が集まってこそ、素早い行動と継続的な改善が出来、現場のレベルアップにつながります。

現場改善実習では、ムダ発見～改善～発表を班メンバーで団結し目標時間内で完了する事が出来ていますが、自社では、問題と認識していても直ぐに取り除けず、改善が長期間になりがちな事も多々有るため、本講座の現場改善実習を通して、モラールの底知れぬパワーと日頃の自分の甘さを痛感させられました。

また、コマニー㈱様での実習では、改善結果を作業者の方と喜び合え"ハイタッチ"する場面もあり、目標通りの改善が出来た時の喜びを教えてもらいました。

皆さんもこの養成講座を受講し、改善の喜びを得ながら改善スキル向上に繋げて下さい。

フシマン株式会社
取締役　藤島　大輔　氏

弊社は主に減圧弁・安全弁を製造販売するバルブメーカーです。

小職は製造現場の業務を担当していないので、製造現場の知識、経験が不足しておりトレーナー養成講座についていくのが大変でした。特に現場実習では苦労しました。現場実習は限られた時間の中でムダを発見し、実際に現場を改善して改善の結果をまとめなければなりません。しかし、1回目の現場実習では、「ムダを発見できない」「ムダを発見できても改善策が思いつかない」「改善の結果を上手くまとめることができない」と全くついていけませんでした。

しかし、本講座では「なぜ改善をしなければならないのか？」「どのようにしてムダを見つけるのか？」「どのようにしてそのムダを取り除くのか？」「どのようにして改善の結果をまとめるのか？」を一から丁寧に教えて頂けたので、改善の目を養い、ムダ発見能力を身に付けることができました。

今後は本講座で学んだことを生かして、社員全員で知恵を出しながら改善を進めていきます。

▼講師紹介

【　講　師　】

PEC協会
会長　山田 日登志

南山大学文学部卒業後、中部経済新聞社、岐阜県生産性本部コンサルタントを経て、１９７８年に、第一線監督者の研修道場、ＰＥＣ産業教育センターを設立。
トヨタ生産方式の創始者、故大野耐一氏に１９７１年から師事。センター開設以来、(財)日本生産性本部の講師、名古屋工業大学の講師も兼ね、現在、トヨタ生産方式を約３００社に導入、ＫＯＡ㈱・ミツミ電機㈱・㈱ＬＩＸＩＬ（旧トステム㈱）・ソニー㈱・ＮＥＣ・キヤノン㈱・スタンレー電気㈱・三洋電機㈱ｅｔｃへの指導にもあたる。

【　特別講師　】

株式会社シュゼット・ホールディングス
代表取締役社長　蟻田　剛毅　氏

法学部を卒業後広告代理店の電通に入社、お菓子のパッケージに携わる仕事を担当したことが契機となり、昔から好きだったお菓子を扱う仕事がしたい、と転職を決意。
電通在籍中に早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際経営学専攻を修了し、2007年、父の創業会社、株式会社アンリ・シャルパンティエに入社。入社後、ブランド監修を行っていた株式会社クールアースにてマーケティングに携わる。2011年6月より代表取締役社長に就任。経営の立て直しを行い、就任翌年度には赤字から一転Ｖ字回復を果たした。

▼開催・申込要領

期　　日　：　令和２年１月２０日(月)～６月１９日（金）
会　　場　：　ＰＥＣ協会及び実習企業
対　　象　：　企業の第一線で「改善」を実践し、指導者を志す人
定　　員　：　３０名
参 加 費　：　ＰＥＣ会員企業 450,000円（税込）
　　非会員企業 550,000円（税込）
締　　切　：　定員になり次第締め切りとさせて頂きます。
お申込み　：　下記の申込書にご記入の上ＦＡＸいただくか、
弊社ホームページよりお申込み下さい。
ＰＥＣ協会ホームページ 講座情報ＵＲＬ
http://www.pec-g.co.jp/seminar
後日、詳細のご案内と請求書をご送付致します。

お問合先　：　ＰＥＣ協会
「東京ＰＥＣ会トレーナー養成講座」事務局　奥田
〒501-6257　岐阜県羽島市福寿町平方1-5
TEL　058-397-2531
FAX　058-397-2532
MAIL okuda@pec-g.co.jp

▼申込用紙

第５５期東京ＰＥＣ会トヨタ生産方式と作業改善実践トレーナー講座　申込書　FAX 058-397-2532

貴社名	ＴＥＬ
所在地 〒	ＦＡＸ
連絡担当者名	所属・役職

	参加者名(ﾌﾘｶﾞﾅ)	所属・役職	年齢	ＴＥＬ	喫煙	靴	服
1					有・無	㎝	
2					有・無	㎝	

*ご記入頂きました皆様の個人情報（企業名・住所・氏名等）は、同意なく目的外での利用、及び第三者への提供は行いません。-第①版-